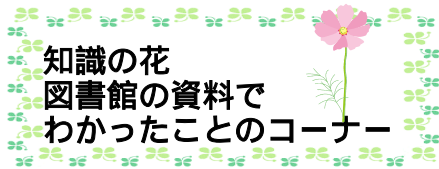


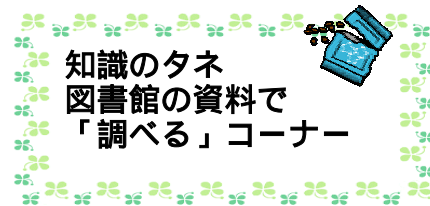
# 調べ方☆案内

図書館での調べ方を、知識の花とタネのコーナーにわけて、ご紹介します。



## 第1回 「秋の七草」について調べる

春のほかに、秋にも七草があると聞いたのですが、何で調べたらいいの？



### 『日本大百科全書』第1巻(背ラベルの記号：R031/ニ10/1-1)184ページより

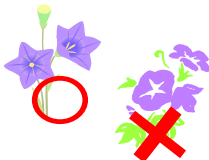
鑑賞を目的として選んだ秋草七種をいう。「万葉集」巻八に収められた山上憶良の歌に、「萩の花 尾花葛花 なでしこが花をみなへし また藤袴 朝顔が花」と、日本の代表的秋草が詠まれたことに始まる。

と紹介され、この他にも江戸時代に好事家が「新秋の七草」を選び、1935年(昭和10)ごろ新聞紙上に「新七草」が発表されたことも分かりました。また、秋の七草の挿絵も掲載されていました。

### 『花歳時記大百科』(R470.36/ハナ)343ページより

秋の七草のひとつ「葛」について、次のように記載されていました。多年生つる植物。茎は近くにある木などからんだり、地面をはったりしながら、10mくらいに伸びる。長い葉柄を利用して、虫かごやムカデなどの動物を作ったり、枯れた柄でバスケットや、敷物を編むこともできる。(本文一部抜粋)

観賞用や葛湯になるだけでなく、用途の広い植物であることが分かりました。また、「葛」の花ことばは「恋のため息」。葛の花の写真も掲載されていました。



調べて発見！アサガオ(朝顔)はキキョウ(桔梗)の花だった！？

『萬葉植物事典』(R911.125/材)12ページ&『日本大百科全書』第1巻184ページより秋の七草のひとつ「朝顔」を『萬葉植物事典』で調べると、「あさがほ」の項に桔梗の写真が写っていました。これは何かの間違い？実は夏に見かける、あの朝顔が観賞用として栽培されるようになったのは平安時代と考えられており、「秋の七草」として詠まれた朝顔は、桔梗とする説が有力だそうです。



### 『日本大百科全書』(全26巻) 小学館 (R031/ニ10/巻数, R031/ニ10/26)

日本の歴史・風土・芸術・思想などのあらゆる伝統的教養に関する項目が掲載されています。

#### 知っておくと便利

『日本大百科全書』などの百科事典は、最初に「索引」を引くと便利です。掲載されている巻・ページのほか、探している事柄が、どのような事柄と関連しているのかが分かり、調査のヒントを得ることができます。

#### 「秋の七草」を索引で引くと

秋の七草 秋 オミナエシ キキョウ... とあり、これらが秋の七草であることが索引からも分かります。

#### 「七草」で索引を引くと

七草 秋の七草 春の七草...とあり、七草という項目で、春の七草と並んで記述されています。

百科事典で調べる 『日本大百科全書』編

### 百科事典あれこれ

『日本大百科全書』の他にも、いろいろなタイプの百科事典があります。たとえば、『岩手百科事典』や『青森県百科事典』など、郷土に関する事物を調べるのに適したものもあります。「盛岡駅の開業はいつ？」「石割桜の品種は？」など、さまざまな疑問を解決する最初の一步となります。

百科事典で調べる

百科事典で分かった花や草の名前を新しいキーワードにして、次のような植物の本を調べると、さらに詳しく「秋の七草」を調べることができます。

### 『花歳時記大百科』北隆館 1993 (R470.36/ハ)

日本の種子植物を中心に、植物を花期で四季に分けて解説しています。

### 『いけばな常用花材図鑑』主婦の友社 1982 (R793.3/シ1/2)

花材の特徴や取り扱い方、出回りの時期などがわかる実用的な一冊です。

### 『萬葉植物事典』外オ 2005 (R911.125/材)

『万葉集』で詠まれた植物を、歌とともに写真で紹介しています。

植物に関する本は主に「植物学(470)」と「園芸(620)」の棚にありますが、「華道(793)」「文学(900)」の棚にも良い本があるかもしれません。検索機を使ったり、スタッフに相談するなど、いろいろな本を探してみてください。

植物の本を調べる

当館 3F の調査・相談カウンターでは、調べもののお手伝いをします。どうぞご利用ください。